



中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム2026年度 島根大学・岡山大学・香川大学・鳥取大学・徳島大学連携
「ぬくもりのあるがんゲノム医療人を育成するコース」(インテンシブコース)
共催:「山陰地域がん専門医療スタッフ育成コース」(インテンシブコース)
島根県がん診療ネットワーク協議会がん相談員実務担当者会
協力:島根大学医学部附属病院 臨床遺伝・ゲノム医療センター

「バッドニュースを伝えられた時、 患者さんはどう感じたのか？」

～ロールプレイでのぞく『伝える側・聴く側』の本音～

2026.9.19 (土) 13:00-16:00

場所：島根大学医学部附属病院 ゼブラ棟2階 だんだん
※ハイブリッド開催（講演のみ）

対象者：
医療従事者、遺伝医療
・がんゲノム医療に
興味のある大学生・
大学院生

【博士課程】臨床腫瘍学総論(D2)、臨床医科学(D5)、腫瘍生物学Ⅲ(D26)、臨床腫瘍学Ⅵ(D33)、
地域がん治療学(D37-1)、がん医療社会学(D37-3)、緩和ケア学(D37-4)、
生体機能測定学Ⅰ(D57)、生体病態学Ⅰ(D66)
【修士課程】医の倫理学(M6)、精神神経科学(M17)、腫瘍の発生・増殖とその制御(M23)

がん医療や遺伝医療をはじめとする現代の臨床現場において、患者さんやご家族の期待に沿えない「バッドニュース（厳しい告知や病状の説明）」を伝えざるを得ない場面は少なくありません。

本セミナーは、講演と実践的なロールプレイを通じて、バッドニュース共有の場における「伝える側」と「聴く側」それぞれの心理プロセスを深く理解することを目的とします。

また、それぞれの職種が、伝えるという場面でのどのような行動をとっているのか、何を考えているのかについて共有することで、多職種支援の重要性についても学ぶことを目的とします。

講師

稲垣 正俊 先生

島根大学医学部 精神医学講座 教授



スケジュール



13:00 開会

挨拶：田村研治（島根大学医学部附属病院）

13:02～14:15 講演

「バッドニュースを伝えられた時、
患者さんはどう感じたのか？」

稲垣 正俊 先生

14:30～15:40 ロールプレイ

「がんゲノム医療に希望を託した
患者への結果説明」

—ロールプレイで考える
「伝える側・受け止める側」の思い—

15:45～16:00 総合討論

16:00 閉会

申込方法



(単位等について)

- ・本研修は、国立がん研究センター認定がん専門相談員「研修・学会等の参加実績」対象研修です。受講証明書については、受講時間の規定により、会場で受講された方にのみ交付いたします。
- ・がんプロの単位は、講演のみ2-①、RP現地参加にて2-④の単位が付与されます。

こちらからお申込み下さい

※締切:9月17日(木)17:00

URL: <https://forms.gle/yh4eax84VzX4ihsW8>

セミナー内容に関するお問い合わせ

事務担当:島根大学医学部附属病院 先端がん治療センター がんプロ担当

TEL 0853-88-3128

参加申込



がんプロHP

